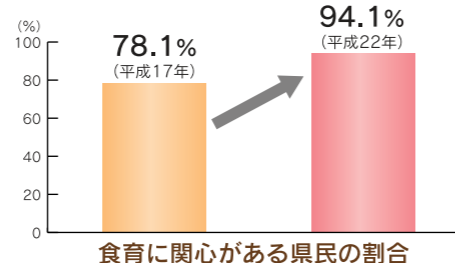




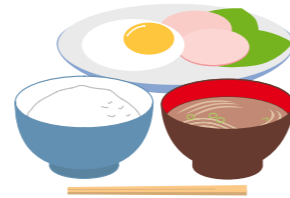
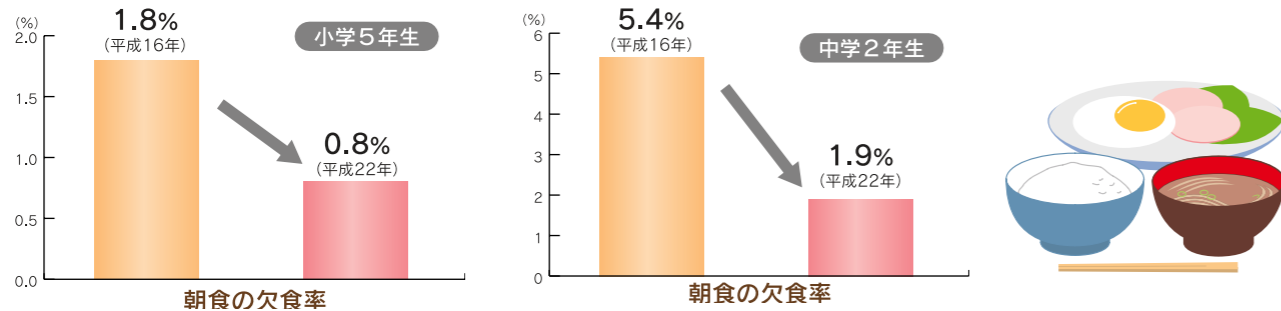
食育を取り巻く現況

食育への関心の高まり

◇第1期県食育推進計画による取組みなどにより、
県民の食育への関心は高まっています。

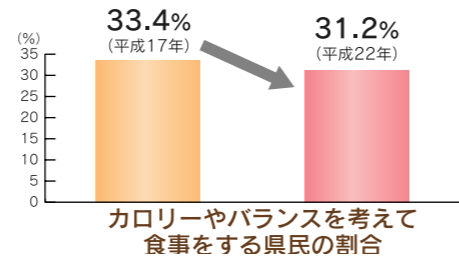


◇朝食の欠食が改善傾向にあります。



食育の実践はまだまだ

◇栄養バランスの良い食事の実践は改善が進んでいません。
◇食の簡便化・外部化、個食・孤食の問題、生活習慣病の増加、
食べ残しなど、食をめぐる多くの課題があります。



項目	平成16年	平成22年
・脂肪からの摂取エネルギー比率（20歳代）	27.1%	28.0%
（30歳代）	25.8%	26.6%
・食塩の1日当たりの摂取量（成人）	11.3g	11.3g
・野菜料理を1日に小鉢5皿程度とる県民の割合（成人）	26.1%	30.7%
・魚介類を1日1回食べる県民の割合（成人）	70.0%	67.3%

県民一人ひとりが、ライフステージや生活場面に応じて、できることから「食育」に取り組みましょう

すぐにできる取組

家族そろった食事 いっしょに料理 直売所などでの買い物 フォーラムなどへの参加 など

◎こんな時には？

地域や学校・保育所などで食育の講演会などを開催したい場合に、食育リーダーを講師として派遣します（無料）。

【お問い合わせ先 富山県栄養士会 TEL076-442-6057】

お問い合わせ先 富山県食育推進会議事務局（農林水産部農林水産企画課）

TEL(076)444-9622/FAX(076)444-4407

ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/sections/1600/syokuiku/index.html>

第2期富山県食育推進計画やメニュー集のダウンロードができます

県民運動として食育の実践を！

第2期富山県食育推進計画

～「食育に関心がある」から「食育を実践する」へ～





第2期富山県食育推進計画の概要

(計画期間:平成24年度～平成28年度)

第2期計画では、第1期計画で示されている食育推進の3つのポイントを継続したうえで、食育の実践に向けた取組みの充実を図ることとしています。

食育推進の3つのポイント

7つの推進事項

目標指標 (目標年度:平成28年度)

I 富山の「食」に着目した富山型食生活の推進



II 家族そろった楽しい食事で健全な食生活の実現



III 家庭を中心とした食育を地域社会でもしっかりと支援



1 富山型食生活の普及など県民運動の展開

- 食育推進運動の継続・充実 (食育月間の設定 (6、11月) 等)
- 食育推進体制の充実 (食育推進会議を核とした関係者の連携強化)

2 地産地消の推進

- 生産・供給体制の強化
- 県産品の活用・購買機運の醸成
- 生産者と消費者の交流促進

3 魅力ある食文化の継承・創造

- とやまの食文化の伝承
- 新たな食文化の創造



4 家族そろった健全な食生活の実現

- 望ましい食習慣の形成に向けた普及啓発
- 家庭で楽しい食生活の実践と支援
- 歯や口の健康の大切さの普及啓発
- 食べ残しなど「ムダ」のない食生活の推進
- 食に対する理解促進

5 保育所・幼稚園・学校等における食育の推進

- 家庭・地域等と連携した食育の推進と推進体制の充実
- 豊かな農林水産資源を生かした食の体験の推進
- 地場産物を活用した給食の推進



6 地域で支えあう食育の推進

- 関係団体等と連携したきめ細かな食育の推進
- 若い世代から高齢者まで、ライフステージに応じた食育の推進
- 食育リーダーの養成・活動促進

7 食の安全確保

- 食に関する情報の理解促進
- 安全な農林水産物等の供給



	現状(平成22年)	目標
①食育に関心がある県民の割合	94.1%	▶ 95%以上
②カロリーやバランスを考えて食事する県民の割合	31.2%	▶ 60%以上
③富山型食生活を実践している県民の割合 (成人)		
・ 1日に1回以上ご飯を食べる	98.5%	▶ 100%
・ 野菜料理は1日に小鉢5皿程度とる	30.7%	▶ 50%以上
・ 魚介類を1日に1回食べている	67.3%	▶ 80%以上
④県産食材の生産拡大 (野菜・いも類産出額)	53億円	▶ 65億円
⑤直売所・インショップ販売額	20.8億円	▶ 25億円
⑥地産地消「とやまの旬」応援団登録数	2,106	▶ 6,000
⑦「とやまの食の匠」認定数	146	▶ 180
⑧ふるさと認証食品	288商品	▶ 300商品

	現状(平成22年)	目標
⑨朝食を欠食する子どもの割合		
・ 小学5年生	0.8%	▶ 0%
・ 中学2年生	1.9%	▶ 0%
⑩朝食を欠食する若者の割合		
・ 20歳代	5.4%	▶ 5%以下
⑪家族で食事 (朝食または夕食) をとる県民の割合	89.8%	▶ 95%以上
⑫農林漁業体験・調理体験を実施している学校の割合	100%	▶ 100%
⑬学校給食における地場産食材の利用割合	30%以上	▶ 30%以上

	現状(平成22年)	目標
⑭栄養バランスの改善度合 (成人)		
・ 脂肪からの摂取エネルギー比率 (20歳代)	28.0%	▶ 20-30%
・ 食塩の1日当たりの摂取量		
男性	12.2g	▶ 9.0g未満
女性	10.5g	▶ 7.5g未満
⑮肥満者の割合(20-60歳代男性)	32.6%	▶ 25%以下
やせの割合 (20-30歳代女性)	18.4%	▶ 15%以下
⑯食品表示が適正な店舗の割合	95.2%	▶ 100%

